



第16回笹山じょうもん市はにぎやかな縄文練り歩きから始まりました。



中条中学校吹奏楽部の皆さんのオープニング演奏です。



会場とひとつになって開会式で大きな雄叫びをあげました。



笹山縄文太鼓の子どもたちがたく太鼓の音が心を深くふるわせます。

第16回笹山じょうもん市2015

風よ運んで 笹山縄文のうたを世界へ

平成27年(2015) 6月7日(日)

火焰型土器を東京オリンピック聖火台に！

最終聖火ランナーが入場してきました。



昨日は星の輝きの中で、今日はまばゆい太陽の光の中で火焰型土器聖火台に点火されました。



笹山むらの子どもたち（中条小3、4年生）が風の女神たちといっしょに、縄文の心がみんなの中によみがえることを願って「風のころも」を踊ります。



ゲストの皆さんによる縄文トーク。縄文への想いや笹山じょうもん市へのメッセージをいただきました。



縄文横丁ではラマトさん（苅谷俊介さん）のスケールの大きな餅つきが行われました。



かつて中条中学生が書いた詩「笹山」が歌となり、合唱曲「はるかなる笹山」としてつなん合唱隊により歌い続けられています。つなん合唱隊のみなさんのすばらしい歌声が響き渡ります。



榮太鼓と榮ふるさと太鼓のみなさんの見事な太鼓演奏です。栄村、津南町、十日町縄文を通じた連携が始まっています。



むらの長老たちが子どもたちに弓矢づくりを伝授します。



茅野市の縄文ふるさと大使 ミサキさん（葺木美咲さん）が熱唱し、プロダンサー キユさん（松崎友紀さん）が華麗に舞います。